

臨時会、6月定例会・議案など…………… 2
 委員会等活動報告…………… 2
 6月定例会・一般質問…………… 3～7
 議案等に対する各議員の賛否状況…………… 6～7
 りんご黒星病現地調査、行政視察など…………… 8

平成30年4月9日から平成30年6月30日までの出来事を掲載しました。

タイトル：ライトアップ
 撮影者：清藤 昌丈さん



議 会 ト ピ ッ ク ス

りんご黒星病に係わる要望書を提出

平成30年6月26日(火)、下山文雄議長が小山内司副議長、各会派代表者らとともに、櫻田宏市長にりんご黒星病に係わる要望書を提出しました。要望書提出に先立ち、6月18日(月)には市内りんご園地を視察したほか、6月定例会最終日には「りんご黒星病撲滅に関する決議案」を議員発議として提出し、全会一致で決されました。
 (8ページに関連記事)



櫻田市長に要望書を手渡す下山議長(左から3番目)

全国市議会議長会議員表彰

全国市議会議長会より、以下の議員に対して、永年勤続表彰が行われました。(敬称略)

一般表彰(議員在職15年以上)



田中 元



小山内 司



一戸 兼一



加藤とし子

平成30年第2回臨時会

市長提出議案 10件

【会期：平成30年5月18日(金)】

○弘前市副市長の定数を定める条例の一部を改正する条例案
副市長の定数を1人とするため、所要の改正をしようとするものです。

人事案件 5件

- 弘前市副市長の選任について（1名）
鎌田雅人氏(新任)
- 弘前市教育委員会の教育長の任命について（1名）
吉田 健氏(新任)
- 弘前市監査委員の選任について（2名）
菊地直光氏(新任)、佐々木宏一氏(新任)
- 弘前市教育委員会の委員の任命について（1名）
村谷 要氏(新任)

平成30年第2回定例会

市長提出議案 15件

【会期：平成30年6月8日(金)～6月29日(金)】

○平成30年度弘前市一般会計補正予算（第2号）
市民生活に直結する生活道路の補修や、農家の方が使いやすい市独自の補助制度の創設など、市民目線に立った予算を盛り込んだほか、福祉施策の充実を始め、新たな総合計画を策定するまでの間に必要と判断した予算を中心に編成したものです。
補正額 6億7688万9千円

6月補正後の平成30年度予算

一般会計 773億8038万9千円
（6月補正額 6億7688万9千円）
特別会計 405億2142万9千円
（6月補正額 5103万円）

○弘前市議員報酬、費用弁償等の額及びその支給方法条例の一部を改正する条例案
弘前市特別職報酬等審議会の答申に基づき、議会の議員の報酬月額を改定するため、所要の改正をしようとするものです。

人事案件 1件 ○人権擁護委員候補者の推薦について（4名）

齊藤幸子氏(再任)、山内賢二氏(再任)、浅利いつ子氏(再任)、相馬隆子氏(新任)

議員発議 2件

意見書

○種子法の復活を求める意見書（抜粋）
種子法の廃止で、地域の共有財産である「種子」を民間企業に委ねた場合、改良された新品種に特許がかけられ、農家は特許使用料を払わなければ種子が使えなくなることが強く懸念されている。この間築き上げてきた試験場等の取り組みが後退することがないよう、廃止された主要農作物種子法の復活を求める。

※意見書の提出先
衆議院議長、参議院議長、農林水産大臣

決議

○りんご黒星病撲滅に関する決議（要約）
近年、りんご黒星病の発生頻度が高まっており、生産者の自助努力だけでは乗り越えきれない局面にあり、りんご産業の危機的な状況にあると言っても過言ではない。当市のりんご産業を安定的に維持・発展させるため、被害拡大や風評被害を防ぐことは弘前市議会に課せられた使命であり、市や関係者一丸となり緊急にこの危機を突破しなければならない。よって、弘前市議会は、りんご黒星病の撲滅のため、今後とも活動していくことをここに宣言する。

選挙管理委員及び同補充員の選挙

- 選挙管理委員の当選人（4名）
成田 満氏（再任）、工藤金幸氏（再任）
松山武治氏（新任）、白戸幸雄氏（新任）
- 選挙管理委員補充員の当選人（4名）
田澤稔美氏（新任）、藤田勝久氏（再任）
長利弘道氏（新任）、佐々木洋子氏（新任）

請願 1件 ○学校給食費に関する請願 …… 不採択

陳情 3件

- 地域別最低賃金の引き上げと全国一律最低賃金制の実現、中小企業支援の拡充を求める陳情
- 障害者の暮らしの場の充実を求める意見書採択のお願い
- 臓器移植の環境整備を求める意見書の採択を求める陳情書
※陳情書は議員に参考配付しました。

委員会等活動報告

議員全員協議会

6月29日(金) 市役所
①平成31年度青森県に対する重点要望事項について

一 般 質 問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。()は所属会派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



木村 隆洋
(自民・公明・憲政)

家庭系ごみ指定袋導入の中止について

問 家庭系ごみ指定袋の導入を中止した理由は。

答 当市の家庭系ごみの排出量は、今年4月に国が公表した平成28年度一般廃棄物処理実態調査の結果では、市民1人1日当たり733グラムで、平成27年度の754グラムと比較して21グラム減少しているが、全国平均の646グラム、青森県平均の678グラムと比べて多い。ごみの減量

化や資源化は、市民の関心が非常に高い問題であり、市民一人ひとりが考えて自ら行動することが、市民力、地域力の向上につながると思っている。

現在、県内40市町村中、当市を含む4市町村のみが、有料化、指定袋のいずれの制度も導入していない。市民力を活かしたごみ減量化策を市民と検討し、取り組んでいきたいと考え、「家庭系ごみ指定袋制度」を中止とする方針に至った。



石岡 千鶴子
(無所属)

不登校・大人のひきこもりについて

問 不登校支援について。

答 市立小中学校で病欠を除き年間30日以上欠席した児童生徒は、平成29年度は前年より減少し119名。今後も一層、不登校支援の取組が必要だと認識している。

問 大人のひきこもり実態調査の必要性。

答 大人のひきこもりは各家庭での問題にとどまらず、長期化により生産年齢人口の減少や生活保護世帯となる可能性が

高まる等、市の活力や財政面からも重要な問題だと認識している。国の実態調査の手法や調査結果を踏まえ、市で独自調査を実施するかどうか、まずは研究し、今後の対応を検討する。

岩木山弥生登山道整備について

問 3合目から頂上までの整備について。

答 平成29年度には岩木山環境保全協議会の会員及び市職員が登山道の現地確認後、刈払いや標柱等の修理を行った。



伏見 秀人
(弘新会)

民生委員協力員制度導入と課題について

問 実施に向けて、どのような調査など準備作業が行われたのか。

答 各地区の民生委員児童委員協議会の会長との意見交換会では同制度導入を求める意見があり、全民生委員へのアンケート調査でも、活動に協力する人手を必要としている実態がわかった。各地区会長と協議を重ね、概ね理解を得られたことから、今年度から導入することとした。

景観まちづくり刷新支援事業について

問 4月9日の記者会見で旧弘前市立図書館の移設について必要に応じて見直すとのことだったが、その後の検討内容は。

答 本事業が現在の市民生活において本当に必要な事業か、事業効果や今後の維持管理費を比較検討するなど総合的に勘案した結果、本事業の在り方についてさらに検討が必要であると判断し、事業の見直しを指示したところである。



松橋 武史
(弘新会)

家庭系ごみ指定袋制度等について

問 今後の対応方針と市長の考えを問う。

答 本制度導入は中止とし、ごみの排出方法はこれまでと同様とする。今後は市民力を活かし、弘前方式といわれるようなごみ減量化策を、市民との協働により検討し、取り組んでいきたい。

ドライブレコーダー導入について

問 設置の協力を呼び掛けてはどうか。

答 公用車にドライブレコーダーを導入

した自治体の運用や活用状況、効果等を調査するなど、導入に向け研究していく。

めじゃーリーグ開催等について

問 球場でフードとスポーツを楽しむ10万人規模のめじゃーリーグ(グルメイベント)を提案するが、市の考えは。

答 郷土への愛着心を醸成するイベントと見受けられ、興味をかき立てられる発想だと感じた。球場を活用したグルメイベント開催の実現可能性を研究していく。



野村 太郎
(自民・公明・憲政)

弘前市の海外誘客施策の今後について

問 基本構想を問う。

答 魅力的な観光資源の掘り起こしや事業者が行う受入環境向上のための支援を引き続き実施するほか、二次交通も検討していく。また周辺自治体との広域的な観光連携など積極的に進めていきたい。これらを推し進めることで足腰の強い観光まちづくりから、ひいては地域の活性化に結びつくものと考えている。

吉野町緑地周辺整備事業の今後について

問 基本的な考え方と今後の進め方は。

答 中心市街地の活性化と市民生活の一層の充実と文化芸術活動の推進を市民とともに作り上げていきたい。財政負担抑制に向け、運営・維持管理業務など見直しを進め、引き続き慎重に判断していく。

〈その他の質問項目〉

○弘前版生涯活躍のまち構想の今後について ○子育て施策の今後について



一戸 兼一
(弘新会)

総合計画策定について

問 これまでの弘前市政の各事業を精査、検証し、かつ長期の財政検討も必要であることから、一定の日数を持って、誤りのないよりよい総合計画の策定を望むが、今後のスケジュールを問う。

答 将来都市像を考える市民会議を開催し、市民との協働で計画づくりを進め、平成31年第1回定例会において、新しい総合計画を提案したい。



石山 敬
(自民・公明・憲政)

農業経営基盤強化対策について

問 農業青色申告者の現状と今後の推進方法について問う。

答 青色申告されている人数は、この3年間で9%増加している。市では認定農業者や農業法人等を中心に農業経営簿記講座等への参加を呼び掛けているほか、収入保険制度と関連付けて、農業ひろさきでの周知、人・農地プランの集落座談会や米の生産調整に関する会議などで、



三上 秋雄
(弘新会)

放課後児童健全育成事業について

問 「なかよし会」の開設場所、利用する児童数、勤務する職員等を問う。

答 6月1日現在、小学校9ヶ所と公共施設7ヶ所の16ヶ所で開設しており、942名の児童が登録している。また、4月1日現在、61名の放課後児童支援員が子ども達の指導と支援を行っており、「なかよし会」は、未来の弘前を託す「ひと」を育てていく仕組みのひとつで



鶴ヶ谷 慶市
(自民・公明・憲政)

津軽為信公銅像について

問 津軽為信公銅像を元々あった本丸に戻すことはできないのか。

答 現在、弘前文化センター前に設置されている銅像は、彫刻家の古川武治、武彦両氏の制作により、平成16年に藩祖為信公銅像建立協議会が建立し、市に寄贈したものである。

元となった銅像は、彫刻家の山崎朝雲が制作し、明治42年に弘前城本丸に建立



外崎 勝康
(自民・公明・憲政)

職員の人材育成について

問 人材育成の現状及び課題・対策などについて問う。

答 階層別研修や特別研修においても、自ら企画し、プレゼンテーションを行うなど、これまでにない要素を取り入れ、市民に信頼される組織・職員を目指し、人材育成にしっかりと取り組みたい。

教育行政について

問 情報モラル教育について。

小・中トイレ改修について

問 いじめの一因ともなりうるトイレ問題を早急に解消し、市民に公表すべきと考えるが、その認識を問う。

答 全面的な改修が必要な16校は平成33年度までに解消し、長寿命化改修を計画している学校は、簡易な改修だが、市の単独費により平成33年度を目途に、築年数が新しい学校は便器の全面洋式化を平成34年度を目途に終える計画。

周知啓発に努めているところである。

問 法人化推進について、近年の農業法人数の推移と年間雇用に関する支援は。

答 農業法人数は平成25年度46法人、平成29年度65法人と農業経営の法人化は年々増加。市としては農業経営の基盤強化に向け、雇用の支援をはじめ、法人化や法人経営の支援を継続してまいりたい。

〈その他の質問項目〉

○地域防災について

あり、今後もしっかり取り組んでいく。

埋立処分場跡地について

問 事業者への無償での使用許可を問う。

答 土地の使用料については、スマートシティ構想に基づき、市が民間事業者と共同で行う一定の公益性を有すると判断し、免除した。発電事業者から利益の一部を市に還元したいとの申し出があったことから、今後、適切な利益還元方法について発電事業者と協議していきたい。

されたが、昭和19年の金属回収令により供出されたものである。

以後、本丸への再建については、市制90周年記念事業で検討するなど長らく運動を続けてきたが、文化庁より、国指定史跡であることから基準に基づいた指導を受け、現在地での建立となった。また、本丸への移設については、これまで文化庁と協議した結果、現行の基準や制度では極めて困難であると認識している。

答 スマートフォンや携帯電話を所持する児童生徒には、心身の健康の観点から使用時間・目的のルールが必要である。

問 命の教育について。

答 正しい生活習慣が疾病予防につながるなど健康教養を学ぶ弘前式健康教育コアカリキュラムを導入している。また、災害等から命を守り、安全に行動する話し合い活動を実施するなど、地域と連携・協働し子供たちの防災意識を高めたい。

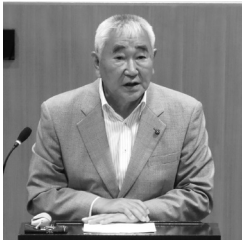


尾崎 寿一
(自民・公明・憲政)

スポーツ振興について

問 スポーツ推進計画の策定状況は。
答 昨年度から策定に向け作業を開始しており、素案を弘前市スポーツ推進審議会へ諮問している。今後は総合計画との整合性を図るため、関係課と内容を精査した後、パブリックコメントの募集、審議会からの答申を経て、公表となる予定。
問 児童のスポーツ環境に関するアンケート調査の分析を問う。

答 指導者の確保や資質向上、保護者の経済的負担や活動に係る負担の軽減に対する要望があるなどの課題が判明した。スポーツを気軽にできる環境を整備するため、「児童のスポーツ環境整備支援事業」を今定例会で提案している。
 〈その他の質問項目〉
 ○教育現場で感じていた当市の小中学校の教育
 ○教育長が目指す当市の教育
 ○農業用ため池の維持管理



越 明 男
(日本共産党)

櫻田市長の政治姿勢について

問 櫻田新市長においては、今議会の施政方針で表明された「住民福祉の向上」に努めるの精神を忘れず、市政の運営にあたっていただくよう希望する。
 そこで、政治理念「市民生活第一」について、また、その具体化としての、「暮らし」「いのち」「ひと」の三本柱について問う。
答 私の政治理念でもあるのが、市民生

活を第一に、市民の目線、気持ちに立った市政運営を行うことである。
 また、市民の皆さんの負託に応えるため、市民の「暮らし」を支え、市民の「いのち」を大切に、次の時代を託す「ひと」を育てる、この三本の柱を横軸に据えて、これからの弘前、新しい弘前づくりを推進していく。
 〈その他の質問項目〉
 ○幹部職員の処分について



加藤 とし子
(弘前市民クラブ)

検診について

問 がん検診の受診状況等は。
答 平成29年度のがん検診受診率は、乳がんが26.3%で前年度比0.9ポイント増、子宮がんが34.8%で1.8ポイント増、前立腺がんが26.5%で2.1ポイント増、大腸がんが31.8%で5.5ポイント増、胃がんが14.9%で0.3ポイント減。無料クーポンの利用率は乳がんが23.4%で15.4ポイント増、子宮がんは16.6%で9ポイン

ト増、再開した大腸がんは7.5%。胃がん検診は本年8月から胃内視鏡検査も選択できる。骨密度検診はエックス線や超音波など数種類の検査方法があり、受診率は5.7%で0.8ポイント増となっている。
 〈その他の質問項目〉
 ○ごみの減量化及び資源化
 ○DV問題
 ○職員の人事評価制度とストレスチェック制度
 ○庁舎内に設置されたコンビニエンスストアやレストラン



蒔 苗 博英
(自民・公明・憲政)

櫻田市長の農業行政について

問 農業に対する市長の決意について。
答 農作業の省力化、効率化を図るために農業用機械の導入や集出荷作業等の効率化を支援する「農作業省力化・効率化緊急対策事業」を創設する。
 また、農作業や集出荷作業の利便性向上を図るため、地域のニーズに応じ、狭隘な農道の補修・更新の取り組みへの支援、りんご生産技術の習得等に係る各種

研修事業を実施する。
問 黒星病に対する市の対応について。
答 農業関係団体と連携を図り、りんごの防除全般を担う青森県産業技術センターりんご研究所の防除に対する研究体制の強化を、強く県に要望するとともに、新たな防除薬による防除体系の確立など、国に対して強く要望していきたい。
 〈その他の質問項目〉
 ○社会体育施設の利用状況と今後の対応

平成30年第2回定例会日程 (22日間) ○傍聴者の数：延べ95人

6月8日(金) 本会議	開会、会期の決定、提案理由の説明	6月27日(水)～6月28日(木)	議事整理
6月9日(土)～6月18日(月)	議案熟考	6月29日(金) 本会議	各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
6月19日(火)～6月21日(木) 本会議	一般質問		
6月22日(金) 本会議	一般質問、議案付託		
6月25日(月) 常任委員会	総務、厚生、経済文教、建設		
6月26日(火) 常任委員会	予算決算		

今年はこれまで延べ**192**人が傍聴しています。日程をご確認の上、お気軽にお越しください。
 弘前市マスコットキャラクター たか丸くんエコバージョン



ひろさき市議会だより第52号掲載内容の訂正について
 市議会だより平成30年6月発行(第52号)掲載の平成30年第1回定例会日程中(5ページ下側)、「3月14日(金)」とあるのは「3月14日(水)」の誤りでした。お詫びして訂正します。



栗形 昭一
(無所属クラブ)

新市長が描くひろさきの未来像を伺う。
問 市長が市役所に勤務した経験と市民との交流から創造されるひろさきの未来像を伺う。
答 「市民生活を第一」に、市民の「くらし」を支え、市民の「いのち」を大切に、次の時代を託す「ひと」を育てる、3本の柱を横軸に据え、新しい弘前づくりに邁進するためには、市職員の能力向上、人材育成が急務である。

ひろさき創生塾においては、人材育成には気づきが大事であることを学び、弘前ねぶたまつりの制作小屋では、地域が次の時代を担う人材を育成する仕組みがあり、大いに参考となるものである。
 先人の熱意とたゆまぬ努力により築き上げられてきたこの弘前市を次の時代に胸を張って引き継ぐことが私の夢であり、先人に恥じない弘前づくりに粉骨砕身していく。



佐藤 哲
(弘新会)

学校図書入れかえについて
問 現在の学校現場の状況は。
答 平成29年度に弘前市立学校図書館整備構想を策定し、順次更新を行い、計13校の作業を終了している。刊行後10年経過した図書は廃棄、新規は自然科学など冊数が少ない分野を選ぶなど日頃から情報収集する必要があるため、地元の図書取扱業者から情報提供を受けるよう助言している。また廃棄作業をした学校に

は、図書購入費に係る予算を3万円増額し、蔵書冊数の確保に努めている。
岩木地区における米の地帯別生育指標について
問 その後の見通しとスケジュールは。
答 昨年の佐藤議員からの一般質問での作付け地域の見直し要望を基に、県と意見を重ね要望書を提出した。県では地帯区分の変更の是非について検討を進めており、7月に一定の方針が示される予定。



工藤 光志
(自民・公明・憲政)

弘前市経営計画(2018~2021)素案に基づく、櫻田市長の選挙公約に伴う次期総合計画の策定について
問 次期総合計画は、平成31年第1回定例会に提案するとのことであるが、今年一年間、総合計画がない中で、どのように市政運営を行うのか、市長に伺う。
答 市長交代に影響されない、長期的な展望に立った総合計画づくりを進める必要がある。「市民生活を第一」に、市民

の「くらし」を支え、市民の「いのち」を大切に、次の時代を託す「ひと」を育てる、3本の柱を横軸に据えた新たな総合計画を作り上げたいと考えている。今年度は総合計画が策定されていない状況となるが、各事業の個別計画やすでに議決された平成30年度当初予算や本定例会で審議いただく補正予算案に基づき、市議会としっかり共有された形で着実に市政を運営していく。

議会を傍聴
しませんか

市役所前川本館4階で受付していますので、お気軽にお越しください。

議会(本会議、委員会など)は原則、どなたでも傍聴できます。

議長(下山文雄)は採決に加わっていません。
 ※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

加藤とし子	鳴海 毅	一戸 兼一	小山内 司	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	栗形 昭一	宮本 隆志	高谷 友視	下山 文雄
○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	●	○	○	-
○	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-
●	○	○	○	●	○	○	●	○	○	○	○	○	○	-
○	●	●	●	○	●	●	○	●	●	●	●	●	●	-

定例会の一般質問等のラジオ放送

F Mアップルウェーブ(周波数78.8メガヘルツ)で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。※緊急時、災害時には変更される場合も有り

平成30年第3回定例会日程(予定)

- (8月24日(金)) 議会運営委員会 会期日程等の協議
 - 8月31日(金) 開会日(本会議) 開会、会期の決定、提案理由の説明
 - 9月28日(金) 閉会日(本会議) 各委員長の報告、質疑、討論、表決、閉会
- ※日程については、議会開会前にホームページ等でご確認ください。

弘前市議会ホームページ

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

インターネットによるライブ中継・録画中継、会議録検索システム、議会の日程など、市議会の情報は、こちらでご覧いただけます。

弘前市議会 インターネット中継

弘前市議会 会議録

検索



黒星病被害拡大!! 緊急現地調査



園地を視察する議員



黒星病を発症した葉



感染を防ぐため土中に埋め入れられるりんご



議長を中心に対策を協議

弘前を中心とした津軽一円でりんご黒星病が多発していることを受け、弘前市議会では6月18日(月)、黒星病の発生状況を確認し対策を講じるため、23人の議員による市内りんご園地の現地調査をおこないました。

常任委員異動のお知らせ

尾崎寿一議員
(旧) 経済文教常任委員会
→ (新) 建設常任委員会
(平成30年4月17日付)

「ひろさき市議会だより」について、ご意見・ご感想などがありましたら、今後の参考にさせていただきますのでTEL・ファクス・メールなどでお気軽にご連絡ください。

発行／弘前市議会 編集／ひろさき市議会だより編集特別委員会
〒036-8551 弘前市大字上白銀町1-1 ☎ 35-1121
フックス 35-3005 Eメール gikai@ci.ty.hirosaki.lg.jp

委員会行政視察

経済文教常任委員会

- 5月13日(日)～16日(水)
- ①高知県高知市
○土佐の街路市について
 - ②岡山県倉敷市
○児島産業振興センターについて
 - ③広島県廿日市市
○宮島中学校の英語ボランティアガイドについて

建設常任委員会

- 5月14日(月)～17日(木)
- ①静岡県掛川市
○一般廃棄物の減量対策について
 - ②愛知県岡崎市
○市立美術館について
 - ③京都府亀岡市
○亀岡ふるさとエナジー株式会社について

総務常任委員会

- 5月27日(日)～30日(水)
- ①静岡県島田市
○コンストラクション・マネジメント方式について
 - ②愛知県豊橋市
○防災コミュニティの推進について
 - ③愛知県小牧市
○地域ブランド戦略について

厚生常任委員会

- 5月28日(月)～31日(木)
- ①香川県東かがわ市
○地域コミュニティについて
 - ②徳島県鳴門市
○鳴門市女性子ども支援センターについて
 - ③兵庫県明石市
○離婚後のこども養育支援について

会派一般行政視察

弘前市民クラブ

- 4月9日(月)～12日(木)
- ①兵庫県神戸市
○観光振興(インバウンド・おとな旅神戸)について
○災害受援計画について
 - ②愛知県名古屋市長
○なごや子ども市会について
 - ③神奈川県横須賀市長
○生涯現役に向けた取り組みについて

日本共産党

- 5月6日(日)～9日(水)
- ①鹿児島県指宿市長
○PFI事業(道の駅)について
 - ②鹿児島県鹿児島市長
○新市立病院について
 - ③鹿児島県霧島市長
○地域包括ケア体制構築の取り組みについて



名古屋市長会議場にて



鹿児島市長会議場にて

表紙の写真大募集!!

- ◎テーマ 弘前市内で撮影された写真(風景・まつり・イベントなど)
- ◎規格 デジタル写真データ (JPEG形式、サイズ1MB以上、横撮りのみ)
- ◎応募資格 弘前市に在住・在勤・在学の方
- ◎応募方法 写真のタイトル(10文字以内)・撮影場所・撮影日・住所・氏名・電話番号を明記の上、メール、郵送、持参。※メールの場合は、件名に「だより表紙写真」と入力してください。
- ◎締め切り 第54号(平成30年12月発行)の締め切りは平成30年10月10日(水)です。

【詳しくはホームページ、または議会事務局へお問い合わせを。】